



札幌駅前通地下歩行空間・札幌市北3条広場の活用について

札幌駅前通まちづくり株式会社

札幌駅前通地下歩行空間ができるまでの市民参加

市民1000人ワークショップ



● 思いやり：基本的考え方について
● 思いやり：具体的なポイント

2003年11月14日
（金）
15日（土）
午前10時～午後5時

参加者517名
見学者100名
ファシリテータ、記録
延べ200名
システム・会場管理
延べ170名

駅前通地区のエリアマネジメント組織設立の経緯

【周辺状況の変化】

●平成17年(2005年)、札幌駅前通の整備（地下歩行空間、地上部）が開始

●同整備に関する検討・協議を目的に、駅前通沿道地権者31社により「札幌駅前通協議会」が発足

⇒地上デザイン、地区計画の検討、景観・屋外広告物基準等の検討

⇒平成20年(2008年)、地権者提案型の地区計画を都市計画決定

地下歩行空間の
整備が進む

単なる地下通路ではなく
「広場」として活用

●平成19年(2007年)、駅前通地下歩行空間の活用や管理を行いながら、地域の価値や魅力を高める「まちづくり会社」設立に向けた検討を開始
意見交換会（沿道9社）⇒設立準備委員会

●平成22年(2010年)9月、駅前通地区を魅力ある「都心の顔」として育み、都心全体の活性化を目指す「札幌駅前通まちづくり株式会社」を設立

札幌駅前通まちづくり株式会社の概要

設立目的と組織概要

- 設立：平成22年9月17日
- 資本金：990万円（198株）
- 株主：17団体・企業
札幌駅前通振興会、駅前通沿道企業10社、
駅前通隣接企業4社、札幌商工会議所、札幌市

継続的なまちづくりを容易にする

- 体制：常勤役員2・正社員10
- 設立目的：札幌駅前通地区を魅力ある「都心」の顔として育み、継続的かつ恒常的なにぎわいのある地域づくりを行い、都心全体の活性化に寄与する。

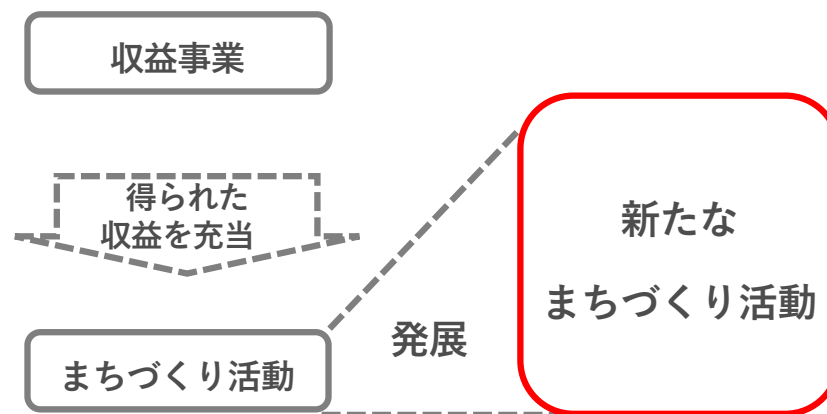
事業概要

- 札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）および札幌市北3条広場（アカプラ）の運営（指定管理）
- 広告事業
- 地下・地上の広場を活用した「にぎわいづくり」をはじめとしたまちづくり事業
- 人材育成事業
- 地域防災・防犯活動事業
- まちの美化等環境事業
- 建替計画等地区更新支援事業 等

事業費と収益の考え方

事業収益をもとに目標を実現

事業で得られた収益は、まちづくり活動に還元し、まちづくり活動を発展させる。



札幌駅前通地区のエリアマネジメントの主な事業

公共空間の運営・管理

- ・ 「チ・カ・ホ」 の指定管理
- ・ 「アカプラ」 の指定管理

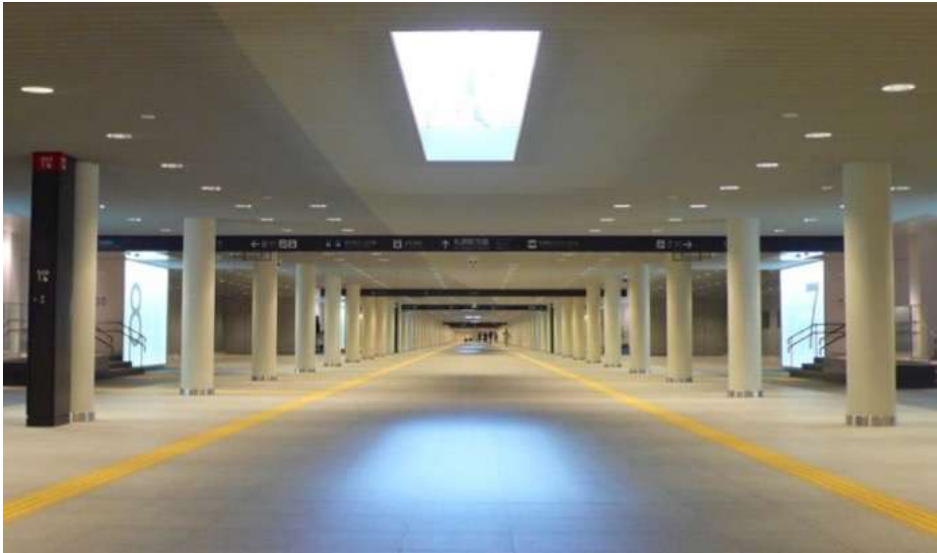
- 広場を活用した「賑わいの促進」
- 広場の活用による
まちづくり財源の創出

まちづくりの具体的な調整

- ・ まちに必要な施設や空間の実現
- ・ 話し合いの場をつくる
- ・ 地域のまちづくりに必要な「合意形成の場」の支援を行う（まちづくり会議等の運営）
- ・ まちの主役「ビジネスパーソン」のための環境づくり

- まちづくりビジョンの策定
- 地区計画の変更
- まちのコミュニティの促進

自主的に財源を創出し、ハード&ソフトにわたって「まちづくり」を行う



チ・カ・ホ

●札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）

- ・区間 地下鉄南北線大通駅～さっぽろ駅
- ・延長 約520m
- ・幅員 約20m
- ・事業年度 平成17～22年度
- ・供用開始 平成23年3月12日
- ・指定期間 令和5年4月～令和10年3月までの5年間
(現在、指定管理4期目)



AKAPLA

●札幌市北3条広場（アカプラ）

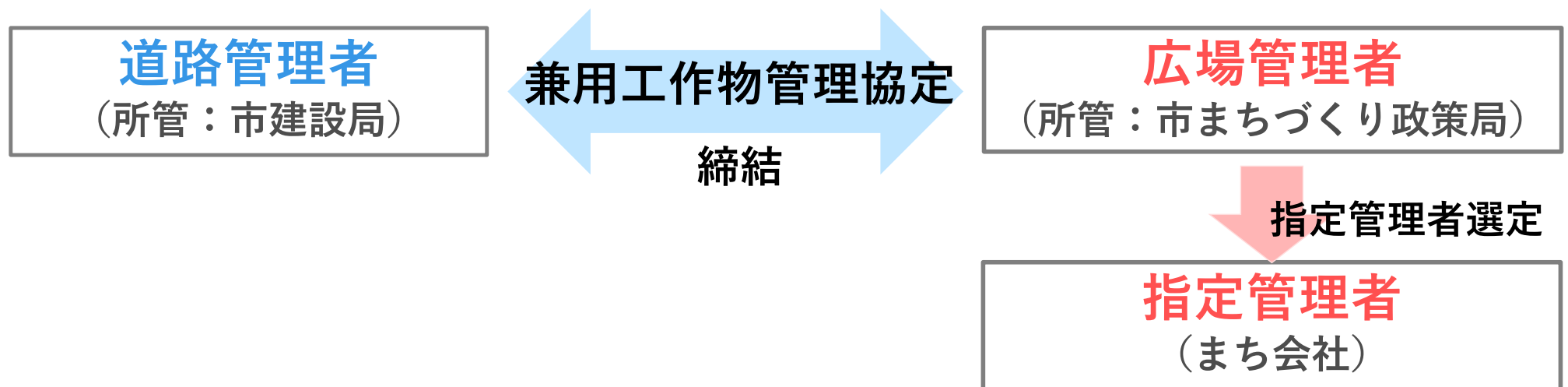
- ・区間 市道北3条線の市道西5丁目線から駅前通までの区間
- ・延長 約100m
- ・幅員 約27m (広場利用範囲は約14m)
- ・事業年度 平成25年度
- ・供用開始 平成26年7月19日
- ・指定期間 令和5年4月～令和10年3月までの5年間
(現在、指定管理3期目)

◎まち会社は「管理会社」ではありません。まちを良くするための調整役、マネジメントの会社です。

◎まちの中の心地よい居場所や空間を作り、活性化やイノベーション等を誘導し、地域価値の向上の手助けをするのが、まち会社の仕事です。

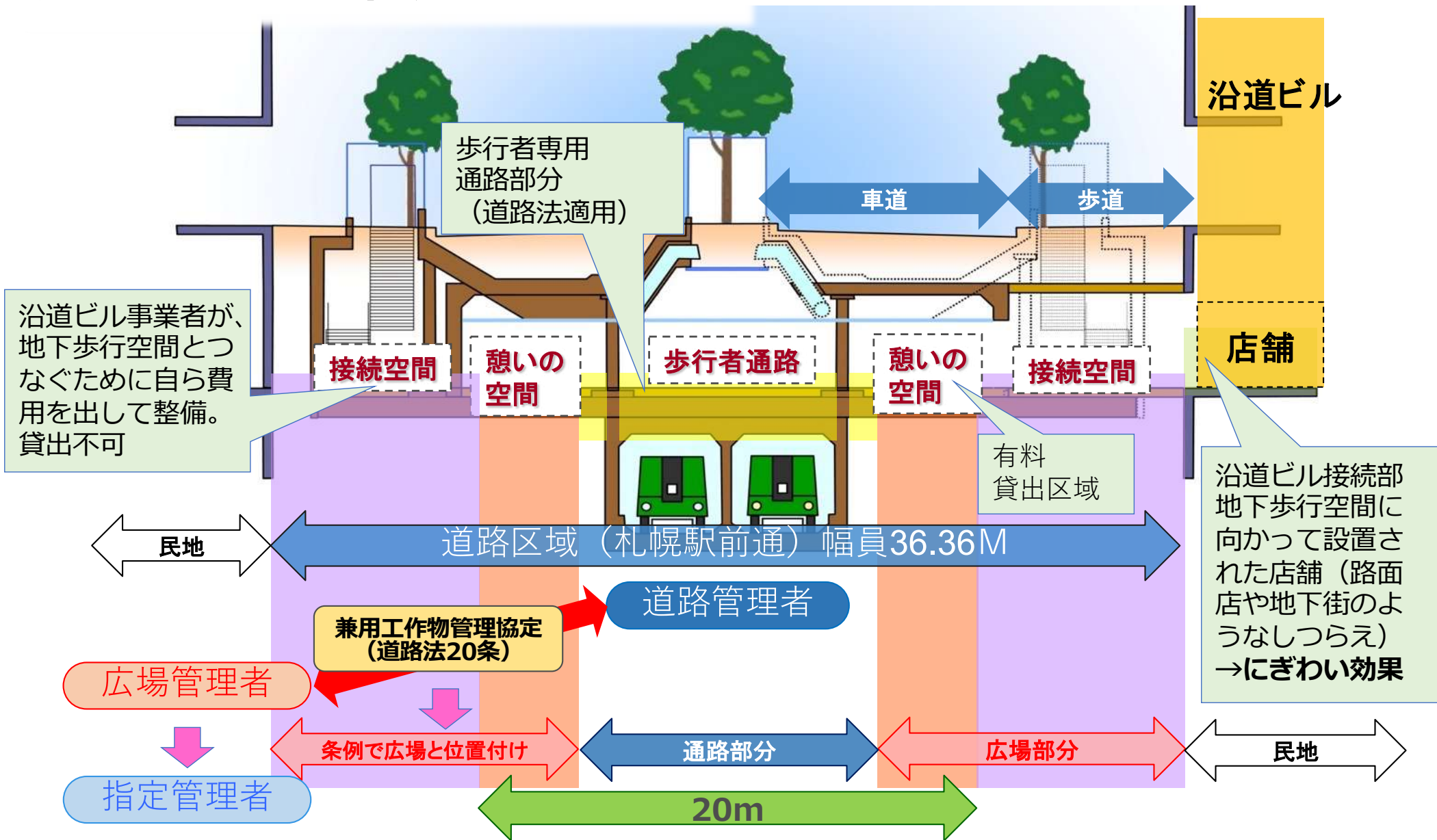
チ・カ・ホ + アカプラは 道路空間でもあり広場空間でもあります。

- 道路上は、本来恒常的な空間活用、店舗の設置など、人を集める仕掛けが困難。
- 道路空間（市道）の一部を条例により広場と位置づけ。広場化により柔軟な活用が可能な空間を創出。
- さらに、兼用工作物管理協定により、広場管理者の管理区域に設定。



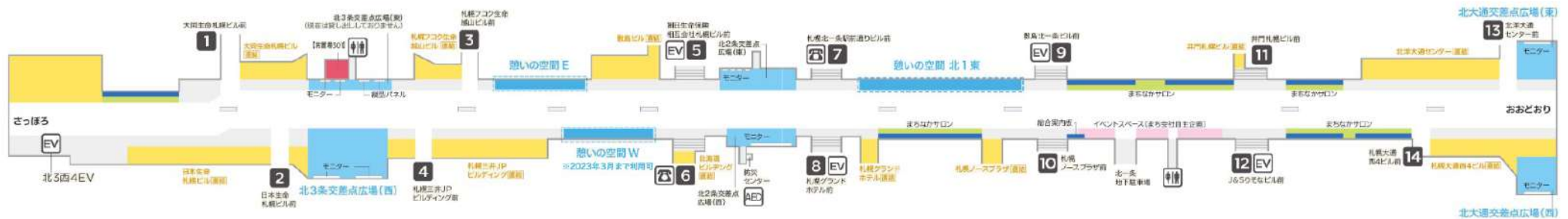
※チ・カ・ホの国道部の広場は、市が一次占有する形をとっている。

道路・広場の構造と管理区分



札幌駅前通地下歩行空間と地下広場

- 地下広場は、通路の両脇 4mの「憩いの空間」と、交差点下の「交差点広場」に大きく区分
- 520m の空間すべてをにぎわいの場としても空間は落ち着かないと考え、様々なアート展示ができるイベントスペースや、まちなかサロンと呼ぶ休憩スペースなど、緩急をつけたレイアウトの下、機能をゾーニング
- このうち、通路の両脇 4mの「憩いの空間」については、多くの方に利用できる機会をつくるため、貸出期間を最長1週間までに制限
- 利用のルールについては、利用者や関係者の意見を聞きながら、一つ一つ「利用規約」に反映



2022年度の主要イベント一覧（札幌駅前通地下広場）

◎は当社の主催・共催・協力事業

チ・カ・ホ

4月～9月



豊平川治水パネル展
4/19～5/2
身近な豊平川の流域治水対策の取組みをパネルで展示していただきました



チューリップセレモニー
4/28
アカブラに春の訪れを告げるチューリップを湧別町から届けていただきました



アイスクリームサンプリング
5/9
アイスクリームの日にちなみアイスのサンプリングが行われました



マイボトルエコアクション啓蒙活動パネル展
5/21～31
北海道SDG's推進プラットフォームによるマイボトル推進の啓蒙展示が行われました



◎SAPPORO PERFORMANCE PARTY 2022
6/4～5
感染防止対策をとりながら、2日間にわたり大道芸イベントが開催されました



YOSAKOIソーラン祭り組織委員会
6/8～12
全国のよさこい祭り開催都市の物産や観光情報をPRしていただきました



◎クラヘ
7/6～12
夏びらきのテーマに合わせた出店者が集まり、多くの来場者で賑わいました



2022サイエンスパーク
7/24
ドローンやロボットなど体験できる展示が行われ、たくさんの子どもたちが訪れました



北方領土返還要求特別啓発事業
8/1～31
赤れんが庁舎の改修（閉鎖）に伴う展示場所としてチ・カ・ホをご利用いただきました



下水道事業パネル展
9/17～18
下水道の役割や重要性をPRする下水道事業パネル展が開催されました



豊平峡ダム50周年パネル展
9/23～24
豊平峡ダムが運用されて50周年になることを記念してパネル展が行われました



【参考①】札幌市×北海道日本ハムファイターズ エンセンシャルワーカーへの感謝応援キャンペーンの取組みとして道路部分の柱に装飾が施されました

10月～3月



第8回リサイクルアート展
10/7～9
使用しなくなった素材からできたアート作品の数々を展示していただきました



◎北海道ビル閉館記念写真展
10/11～23
札幌の発展を支えた札幌駅前通の懐かしい風景を展示していただきました



◎さっぽろアートステージ2022
11/6～23
ライブペインティングや障がいのある方のアート作品など多彩な作品が展示されました



ACジャパン50周年巡回展
11/17～22
ACジャパン50年の主な広告作品を一堂に介した展覧会が開催されました



まち未来コンテスト
12/2～4
岩田地崎建設創業100周年記念事業として絵画作品の展示が行われました



◎チ・カ・ホのお正月
12/28～1/4
高校生の書道パフォーマンスと共に飛躍の年になるよう正月飾りで彩りました



建設産業ふれあい展
1/7～8
お仕事体験コーナーなど設け、建設産業の役割や重要性をPRしていただきました



◎G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合カウントダウンモニュメント除幕式
2/1
知事・市長・サッポロビール様と共にモニュメントの除幕式が行われました



Road to the Sapporo Museum
2/4～5
全長14mのクジラ化石の完全復元骨格標本が披露され、多くの来場者で賑わいました



◎Sapporo Parallel Museum
2/4～12
街なか6カ所にアート作品を点在させ、冬の街歩きを楽しくする取組みを行いました



PMF×チ・カ・ホコンサート
2/22
PMF修了生のアンサンブルユニットが、極上の音楽を奏でてくれました




ちょこっと博覧会
3/18～19
Cho-co-to創刊10周年記念イベントが開催され、親子連れて賑わいました



kuraché

クラシェ



 Sapporo
Parallel
Museum

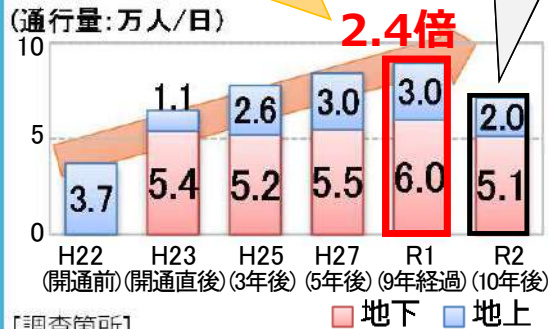
「チ・カ・ホ」の整備効果

チ・カ・ホでは多くの人出により
“にぎわい”が創出されています

＜札幌駅前通の地上・地下の歩行者通行量＞

開通後9年で約2.4倍の
9万人が通行

コロナ禍でも
7万人が通行



[調査箇所]

地上：大同生命ビル西側、
日本生命ビル東側の合計値
地下：大通駅出入口、歩行空間中央、
札幌駅出入口の平均値

＜大通・すすきの地区の地上・地下の通行量＞

大通・すすきの地区は増加傾向

(通行量: 万人/日)



[調査箇所]

地上：大通公園以南(大通～南4条、西1丁目～
西7丁目)の40地点の平均値
地下：オーロラタウン、ポールタウン、大通駅
コンコースに該当する28地点の平均値

資料：札幌市都心商店街通行量調査
…9時から20時までの11時間合計
(調査主体 札幌市商店街振興組合連合会)
[調査日]H22.9～R2.9の平日1日

＜札幌市都心部の商業圏＞

札幌都心部の
地下を広く回遊

札幌駅前通
地下歩行空間
(チ・カ・ホ)

年間を通じて
にぎわい創出
(6日以上/週で
イベント実施)

資料：札幌駅前通
まちづくり(株)

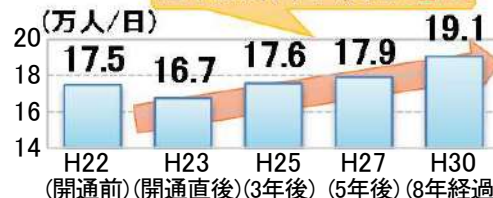


凡例
— : 交差点広場
— : 既存地下空間

資料：ようこそSAPPORO観光写真ライブラリー、
札幌市土木部道路課、札幌駅前通まちづくり(株)

＜都心部の地下鉄乗車人員＞

地下鉄乗車人員は増加

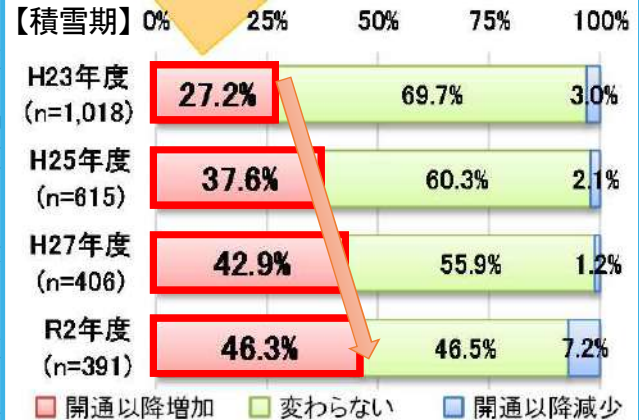


※さっぽろ・大通・すすきの各駅の日平均乗車人数合計値
資料：札幌の都市交通データブック

都心部への来訪が増えており
消費金額も増加しています

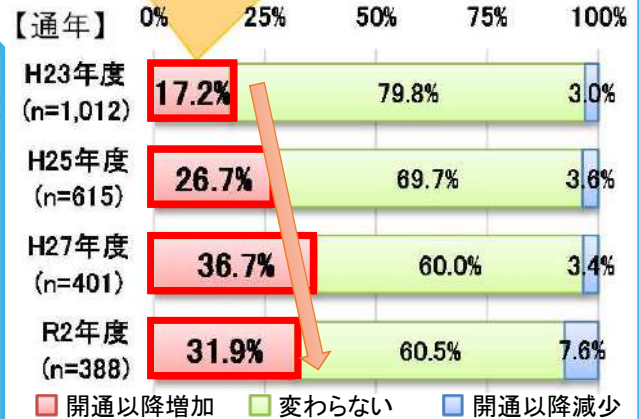
＜札幌都心部への来訪頻度の変化＞

チ・カ・ホ開通以降来訪が増えたと
回答した市民が約半数まで増加



＜札幌都心部での消費金額の変化＞

チ・カ・ホ開通以降消費金額が
増えたと回答した市民が増加



資料：札幌開発建設部調査(H23・H25・H27)
札幌駅前通まちづくり(株)アンケート調査(R2)

札幌市北3条広場—アカプラー 新しい素敵がうまれる場所

隣接する都市再生特別地区（北2西4地区:札幌三井JPビルディング）の公共貢献として、道庁前の道路（北3条通の西4丁目部分）を、歩行者の休息、鑑賞、交流等の用に供する広場として整備。道庁赤れんが庁舎やイチョウ並木と相まって札幌の歴史や文化が感じられる新たな都心の魅力スポットとして、多くの人々が楽しく、豊かな時間を過ごすことができる場の創出を目指しています。

- ・ 区間 市道北3条線（西5丁目線～札幌駅前通）
- ・ 延長 約100m
- ・ 標準幅員 27.27m
- ・ 面積 約2,800㎡



札幌市北3条広場（アカプラ）の整備

■経緯

- 2004年 北3条通のモール化検討、社会実験実施。
- 2007年 三井不動産(株)・日本郵政G（当時）からの都市計画提案
- 2008年 三井不動産(株)・日本郵政G、有識者、札幌市からなる「北3条広場委員会」設置。
「北3条広場の整備に関する提言書」策定
- 2010年 北3条広場委員会に「デザイン検討会議」を設置。
- 2011年 木塊舗装＋イチョウ並木が近代土木遺産に指定。
- 2012年 空間活用実証実験（冬・夏）
- 2013年 札幌市北3条広場条例 制定
- 2014年 供用開始（7月19日）

■民間活力の導入

広場の整備は、隣接地で新設ビルの建設を進めている民間事業者が、ビル建設の機会とした**公共貢献の一環**として実施。

* 北側の隣接敷地と合わせて地区計画をかけており、北3条通に荷捌き・車両出入口が整備されないようにした

■道路と広場の機能を有する施設

これまで市道北3条線として、道路管理者が維持管理を行ってきたが、広場条例を制定し、整備後も道路区域の指定を残したまま、広場として利用。

社会実験 3回



| 年月 | 目的 | 内容 |
|--------------|-------------------------------|---|
| 2004年9月 ① | 公共空間を活用した市民参加型の「にぎわいづくり」手法の検証 | オープンカフェ、市内近郊農家によるマルシェ、路上ウェディング、展示など |
| 2012年2月 ② | 雪を利用した冬期の空間活用の検証 | キャンドルによる空間演出、スノーオブジェによる撮影スポット、仮設飲食店舗の設置など |
| 2012年9月 ③ | 日常的な滞留・回遊拠点としての広場空間での過ごし方の検証 | カフェカーによる飲食の提供、過ごしやすいオープン陰の在り方検証、パフォーマンス、ロードアートなど。 |

札幌駅前通地区活性化委員会

●委員会の設立の経緯

札幌市北3条広場の整備に向けた社会実験の企画・検討を行うため、2012年に「札幌駅前通地区活性化検討委員会」として設立。整備後は札幌駅前通地区の魅力・地域価値の向上を図るため、地上部等のにぎわい創出手法の検討・実施を行う組織として「札幌駅前通地区活性化委員会」と改称。

●構成員

(申請等が必要な組織もオブザーバーの一員になっている)

委員

札幌駅前通地区のビルオーナー
地域団体（町内会等）の関係者
札幌市

(都心まちづくり推進室・文化部)

オブザーバー

北海道開発局

北海道

札幌方面中央警察署

札幌市

(建設局道路管理課・中央区土木部

・中央保健センター

本府・中央まちづくりセンター)

札幌商工会議所

事務局

札幌駅前通まちづくり株式会社

●主な事業

道路活用あり



6月
SAPPOROフラワーカーペット
(アカプラにて、同実行委員会と共催)



6月～9月
サツエキテラス
(※札幌駅南口駅前広場で開催)



7月 or 8月
さっぽろ八月祭
(アカプラで開催)



11月～3月
アカプライルミネーション
(アカプラで開催)



11月～3月
エキヒロイルミネーション
(※札幌駅南口駅前広場で開催)



2月
Sapporo Parallel Museum
(当エリア全体で開催)



令和4年度の主要イベント一覧（札幌市北3条広場）

4月～8月



春一番、ゆうべつチューリップ便り！
4月28日～5月11日
湧別町からご提供いただいたチューリップ
2,400株を展示し、いち早く春をお届け。



アカブラテイクアウト～みんなのテラス席プロ
ジェクト～ 5月～10月
アカブラの日常的な賑わい創出と、来街者
と事業者との繋がりを目的とした取組。



アウトドアデザイン札幌 2022
6月4日～5日
アクティビティやワークショップが満載。ファミ
リで楽しめるアウトドアイベント。



KIREIWAGON by Fujiko
6月11日～12日
コスメブランド「Fujiko」の全アイテムを体験
できるワゴン販売イベント。



サッポロフラワーカーペット2022
6月24日～26日
生花や自然素材を用いて、色とりどりの
大きな花絵を制作する参加型イベント。



SAPPOROファッションストリートフェスタ2022
7月3日
道庁をバックに全長約20mのランウェイを
モデルたちが颯爽と歩きました。



HBC赤れんががプレミアムフェスト
7月8日～10日
北海道グルメや音楽を楽しむ夏恒例のイベ
ント。人気ドラマの展示やグッズ販売会も。



True Colors CARAVAN in SAPPORO
7月17日
パフォーマンスアートを通じて、個性豊かな
人たちと一緒に楽しむ芸術祭。



2022サイエンスパーク
7月24日
科学技術や未来技術に実際に見て触れる
展示や体験などを実施。



さっぽろ八月祭2022
7月29日～30日
ビッグバンドによる迫力の生演奏をバックに
盆踊りを楽しむ札幌駅前通地区のお祭り

8月～3月



PIKACHU RUNWAY(ピカチュウランウェイ)
8月5日～7日
Pokémon GO Fest 2022にあわせ、ピカチュ
ウとダンサーによるパフォーマンスが開催！



スイーツガーデンSAPPORO 2022
8月18日～21日
札幌市内・近郊の人気店のスイーツやお
肉と一緒にお酒も楽しめるイベント



#コンパスフェス 街キャラバン2022
8月27日
スマホゲーム「#コンパス」の全国キャラバン。
ゲーム大会やダンスステージなどを実施。



北海道マラソン2022
8月28日
北海道の夏の一大イベント。2万人が札幌
の街を駆け抜けました。



BMWニュー2シリーズ
アクティブツアラー展示会
9月17日～18日
BMWの車両を展示するイベント



FOREST CROSS THE BASE
9月24日～25日
自然と都心でアクティビティや秋キャンプを
楽しむ体験型アウトドアイベント



ほっかいどう住宅フェア2022
10月15日～16日
北海道での豊かな暮らしを実現する住宅
や住まいづくりの今と未来に触れるイベント



AKAPLA+ (アカブラス)
11月2日
アカブラの日常に新たな楽しみ方を見つ
ける取組。映画の上映などを行いました。



アカブライルミネーション2022～2023
11月22日～3月14日
光の変化を楽しめる迫力のある照明と
光と音楽の連動で、幻想的な空間を演出

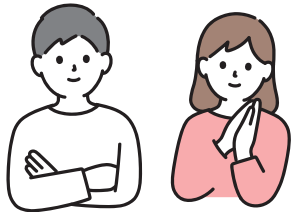


スマイルリンクさっぽろ
2月3日～12日
アカブラに氷のスケートリンクが登場。大人
も子どももアイススケートを楽しみました。

現在の利用のスキーム

広場運営協議会 (年4回)

申請者



※行政・非営利団体等の
利用は減額制度あり。

お問合せ
利用申請
利用料支払

相談・調整
打合せ

利用承認

指定管理者

業務内容

- (1) 施設の統括管理業務
- (2) 施設・設備等の維持及び管理に関する業務(清掃・除雪・保守点検など)
- (3) 施設における事業の計画及び実施に関する業務
- (4) 施設の利用等に関する業務(使用承認・利用料金の收受・予約状況の案内等)
- (5) 上記(1)~(4)の業務に付随する業務(広報業務)
- (6) 自主事業の実施



札幌駅前通
まちづくり株式会社

広場管理者

- ・全体フレーム構築
- ・施設整備
- ・広場条例制定

チ・カ・ホ
まちづくり政策局
総合交通計画部

アカプラ
まちづくり政策局
都心まちづくり推進室

SAPPORO

協定締結

規約
料金
自主事業等
承認

利用実績
報告
(月次・年次)

運営協議会の構成員：広場管理者・指定管理者・地域代表者